

こんなときは、ためらわずに救急車を呼びましょう

次のような症状が見られたら、重大な病気やけがの可能性があります。
ためらわずに119番をしてください。

【顔】

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつが回りにくく、うまく話せない
- 視野がかける
- 物が突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

【手足】

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

【その他】

- 意識がない(返事がない)またはおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている

大人の場合



【頭】

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支え無しで立てないほど急にふらつく

【胸や背中】

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

【腹】

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

【頭】

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて出血が止まらない、意識がない、けいれんがある

【胸】

- 激しいせきやゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

【手足】

- 手足が硬直している

【その他】

- 意識がない、もうろうとしている
- 虫に刺されて、全身にじんましんが出て、顔が悪くなった

小児(15歳未満)の場合



【顔】

- くちびるの色が紫色で呼吸が弱い

【腹】

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず、食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しい腹の痛みで苦しい、嘔吐が止まらない
- 便に血が混じった

救急の日「みんなで家族を守るモン!!」

八代消防署では救急の日に伴いイベントを行います。当日は、くまモンが八代消防署一日救急隊長として来場!心肺蘇生法とAEDの使い方を楽しく学んで、もしものときに備えましょう!

- ◆日 時 9月7日(日) 13時30分～15時30分
- ◆場 所 イオン八代店(八代市沖町3987-3)
- ◆内 容
 - ①訓練用的人形およびAEDを用いて救命処置の体験
 - ②パネル展示および資料配布
 - ③クイズ大会(景品あり)



熊本県の救急医療体制

熊本県では、症状や緊急度に応じて、次のように初期から三次までの救急医療体制が整備されています。

◆初期救急

入院の必要がなく、外来で対応できる軽症患者の夜間および休日における対応をします。

【初期救急医療機関】

在宅当番医制に参加する診療所、休日夜間急患センター、休日や夜間対応できる診療所など

◆二次救急

入院を必要とする重症の患者に対応します。

救急車により搬送される患者、初期救急医療機関から転送されてくる救急患者への初期診療と応急処置を行い、必要に応じて入院治療を行います。

【二次救急医療機関】

病院群輪番制病院、救急告示病院

◆三次救急

二次救急で対応できない複数の診療科にわたる処置が必要な患者や、重篤な患者に対応します。

【三次救急医療機関】

救命救急センター、先進・特殊な救急医療を提供する施設

◆ヘリによる救急搬送体制

県では、2機のヘリコプターによる救急搬送体制を配備しています。

ドクターヘリは救急用の医療機器を装備し、救急医・看護師が搭乗する救急医療専用ヘリコプターです。基地病院の熊本赤十字病院に常駐し、救急医・看護師を速やかに現場に派遣することで、迅速な初期治療を行っています。

また、防災消防ヘリは救助・病院間搬送を担当し、それぞれのヘリが役割に対応できないときは、相互に役割を補完します。

◆本日に救急車が必要か 呼ぶ前に考えましょう

救急車により搬送された患者は、二次救急医療機関で、診療・治療が行われます。

もし、緊急性が低く軽い症状にもかかわらず、安易に救急車を呼んでしまうと、医療機関では軽症患者の対応に追われ、重症患者の急患に対応できない恐れもあります。

緊急性のない病気やけがの場合は、救急車を呼ぶのではなく、本日に救急車が必要かどうかを考え、自分自身で医療機関に受診することが必要です。

八代圏域における救急医療体制

自力で来院をすることができる場合



通常の診療時間の場合



病歴を把握し、気軽に相談をすることができる「かかりつけ医」をつくっておきましょう。

重症・緊急の場合



緊急を要する症状の場合は、救急車を呼びましょう。
※次ページを参照

土・日・祝・夜間の場合

【初期救急医療機関】

入院の必要がなく、外来で対応できる患者に対応します。

○休日在宅当番医

医師会で決められた当番医が休日の比較的軽症の救急患者に対応します。
※当番医は「広報ひかわ」のカレンダー・氷川町ホームページに掲載

○休日準夜間急患センター

八代市医師会立病院(八代市平山新町4438-3 ☎31-6999)
月～土曜日の19時～22時までの診療に対応

子どもの急な病気のときは…

小児救急電話相談 ☎#8000
夜間の子どもの急な発熱、嘔吐、腹痛などの応急措置を相談できる窓口
◆相談時間:19時～24時(毎日)

急に歯が痛くなったときは…

休日救急歯科診療 ☎31-8020
休日の急な歯や歯肉の痛みなど、緊急時の歯科治療を行います。
◆場所:八代歯科医師会口腔保健センター
◆診療時間:10時～16時

重症時に医師の指示で転送

【二次救急医療機関】

入院を必要とする重症の患者に対応。原則として、初期救急医療機関からの転送患者を受け入れます。

八代郡医師会立病院・熊本労災病院・開病院・熊本総合病院・八代市立病院

重篤時に医師の指示で転送

【三次救急医療機関】

二次救急では対応できない複数の診療科にわたる処置が必要な患者や、重篤な患者に対応。
熊本赤十字病院・国立病院機構熊本医療センター・済生会熊本病院・熊本大学医学部附属病院